

記者発表資料

今秋のアオコ対策へ向け準備開始 (下笠ダム湖)

○ 近年、下笠ダム湖では、秋頃からアオコが発生しています。このため、今後のアオコの発生に備え、学識経験者の意見も踏まえ、分画装置などの対策施設の設置を開始します。

なお、現在の下笠ダム湖の水質は良好な状態を保っています。

【実施内容】

○分画装置：機械で川底から空気を噴出させ水の中に壁を造ることにより、アオコの上下流方向の移動を抑制し、アオコの拡大を防ぎます。(8月中旬までに設置予定。)

○分画フェンス：水の表面に5m程度のフェンスを設置することにより、アオコの移動を抑制し、アオコの拡大を防ぎます。(8月下旬頃に設置予定。)

○簡易水循環装置：水温の低い下層(水深が深いところ)の水を、アオコの発生が懸念される水温の高い表層へ簡易的なポンプを使い水を循環させることにより、アオコの発生を防ぎます。(8月中旬までに設置予定。)

○当事務所では、貯水池の監視を強化するとともに、今後も情報発信を行っていきます。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所 管理課長

電話：0942-39-6651(代表)

FAX：0942-35-8242(代表)

参考資料

